

4章 協働による持続的なまちづくり

■ 1 都心まちづくりにおける協働の考え方

1-1 協働によるまちづくりの必要性

(1) 成熟社会におけるまちづくりの考え方

目指すべき都心の将来像を実現するためには、まちづくりに関わる多様な主体が、まちづくりに積極的に参画し、一体的に都心の魅力向上に取り組むことが必要です。

また、成長都市の時代から成熟都市の時代への移行に伴い、開発中心のまちづくりから、管理運営にも配慮したまちづくりが求められています。

これからのまちづくりは、こうした変化に対応し、地域に関わるさまざまな人々が地域特性を重視し、地域の価値を高める取組を行っていくことが重要となります。

都心においても、開拓以来、それぞれ異なる独自性を持った地区が形成されており、その地域特性が今日まで継承されています。こうした地域の価値と新たなまちづくりの将来像を地域の人々と行政とが共有し、官民の協働によるまちづくりを進めることで、その価値の更なる向上を図ることが重要となります。

(2) エリアマネジメントの考え方と必要性

エリアマネジメントとは、「地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者などによる主体的な取組（国土交通省「エリアマネジメント推進マニュアル」より）」として定義され、個人の活動や画一的な行政サービスによっては得にくい、地域自らが取り組むことによって、地域全体の公益的な価値を創造する取組を意味しています。

成熟社会の地域づくりにおいては、住民・事業者・地権者など、地域に関係の深い主体にとって身近であり、個性豊かな地域を実現することが重要です。また、地域の抱える課題も多様化し、その解決方法も地域の実情に応じたものとなることから、その課題に密接に関係する地域関係者が自らまちづくりの担い手となることが重要となります。

こうした地域固有の課題やまちづくりの方向性に対応したきめ細やかな取組やまちの管理運営を通じて、地域の価値が高まり、さらに都心全体の新たな付加価値の創出に資するものとなります。

1-2 さまざまな主体によるまちづくりの推進

(1) 都心まちづくりの主体の考え方

目指すべき都心の将来像の実現に向け、事業者や団体、住民、行政などが、それぞれの役割を果たしながら、協働によるまちづくりを推進することが必要となります。

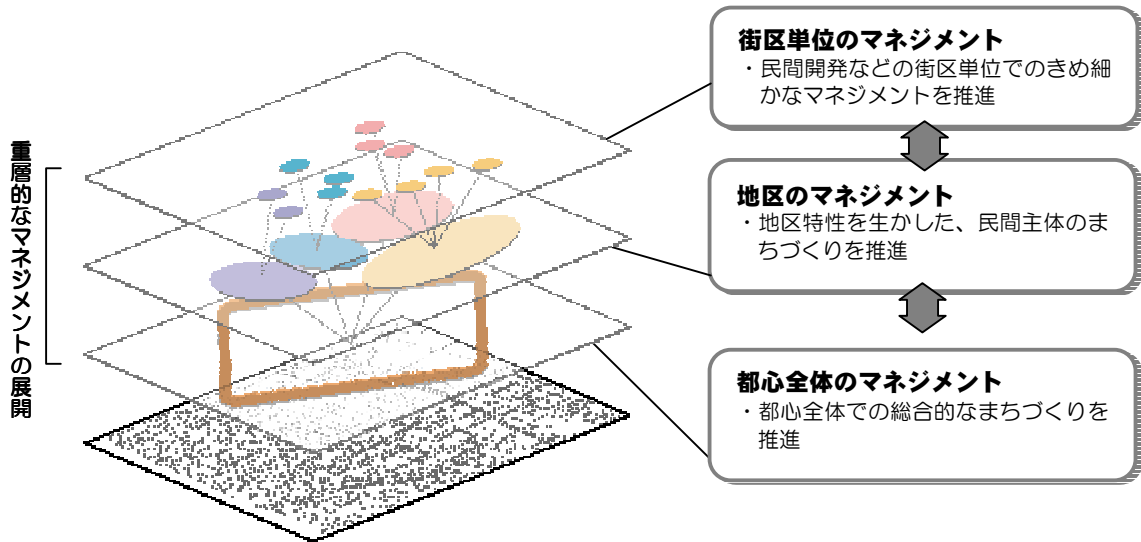
(2) 各主体の担うべき役割

| | |
|--------------------|---|
| 行政 | <ul style="list-style-type: none">○基幹的都市基盤施設の整備○都市開発への支援○公共空間の活用に係る支援○まちづくり活動への支援○まちづくり方針の明確化 |
| 地区別 組織 | <ul style="list-style-type: none">○まちづくり会社などのエリアマネジメント組織による地域特性を生かしたまちづくり事業の推進○まちづくりの将来像を踏まえた都市開発事業などの調整○まちづくり活動に関する諸機関との調整○地域特性に応じたまちづくりガイドラインの作成 |
| 市民・ NPO | <ul style="list-style-type: none">○都心のまちづくりに対する提言○都心空間を活用したイベント、文化活動などの企画や運営、参加○住民の目線のできるまちづくり活動の推進 |
| 個別 事業主体 | <ul style="list-style-type: none">○まちづくりの目標・将来像の実現に向けた都市開発の推進○周辺権利者などからなる街区レベルのマネジメント体制の構築○都市開発を通じた公共貢献 |

1-3 持続的なまちづくりを支える組織形成の考え方

(1) 重層的なマネジメント体制の考え方

持続的かつ効果的にまちづくりを進めていくためには、街区単位、地区単位、さらには都心全体での重層的なマネジメントが必要となります。



(2) エリアマネジメントの推進

都心は大きく「駅前通地区」、「大通地区」、「すすきの地区」、そして「創成川以東地区」という特性の異なる4つの地区から構成されます。こうした各地区においては、関係主体の発意・協働の下、都市開発事業やさまざまなまちづくり事業が展開されています。

平成21年には、大通地区において、地元の六商店街が一体となり、「札幌大通まちづくり株式会社」が設立され、平成22年には、駅前通地区において、駅前通の沿道企業などが中心となり「札幌駅前通まちづくり株式会社」が設立されました。

また、すすきの地区、創成川以東地区においても、エリアマネジメントの実現に向けた検討が進められており、こうしたまちづくり組織が主体となり、各地区の特性を生かしたまちづくりを推進していきます。

さらに、今後は、民間開発などを契機とした街区レベルでのきめ細かいマネジメントを推進するほか、各地区のまちづくり活動を共有し、多様な主体が参加する「プラットフォーム」を形成することで、総合的な都心のまちづくりを推進します。

街区単位のマネジメント

民間開発などを街区単位できめ細かくマネジメント
○開発などの適切な誘導



地区のマネジメント

地区特性を生かした、民間主体のまちづくりを推進

| | 駅前通地区 | 大通地区 | すすきの地区 | 創成川以東地区 |
|--|---|---|--|--|
| マ ネ ジ メ ン ト 主 体 制 の 構 築 | 札幌駅前通 まちづくり(株) ○駅前通地区の継続 的かつ恒常的なに ぎわいづくり ○個性豊かなストリ ート文化の創出 ○将来のまちづくり を担う人材の育成 | 札幌大通 まちづくり(株) ○大通地区の再生に向 けた総合調整 ○商業地区として発展 してきた地区の特性 を生かした取組 ○社会貢献・市民参加 によるまちづくりの 推進 | 組織化に向けた関 係者間の協議・調整 すすきの地区 まちづくり組織 ○安全・安心で魅力あ る地区の実現に向 けたマネジメント 活動 | 組織化に向けた関 係者間の協議・調整 創成川以東地区 まちづくり組織 ○地区イメージ形成 に向けた取組 |

地区の特性を生かしたまちづくりの展開

まちづくり組織が主体となり、各地区の特性を生かしたまちづくりを推進



都心全体のマネジメント

都心全体での総合的なまちづくりを推進
○各地区のマネジメント主体、行政、専門家などからなる「プラットフォーム」の形成
○地区間の連携・調整